



ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP

www.asiaroadracing.com





公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：2018 アジアロードレース選手権シリーズ 第3戦
- 日程：2018年6月1日(金) フリー走行・公式予選
2日(土) 公式予選・決勝レース
3日(日) 決勝レース
- 併催：2018 鈴鹿・近畿選手権シリーズ 鈴鹿 サンデーロードレース J-GP3
- 主催：株式会社モビリティランド
一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会 (MFJ)
- 後援：スポーツ庁/観光庁/三重県/鈴鹿市/
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(2輪用:5.821km)
- 天候・動員：6月2日(土)快晴 24.6℃ 7,500人
3日(日)薄曇り 24.5℃ 13,500人
[2017年実績] 6月3日(土)晴れ 22.5℃ 7,000人
4日(日)晴れ 24.3℃ 12,000人

【メディア概要】

- 取材者数：39媒体 51名

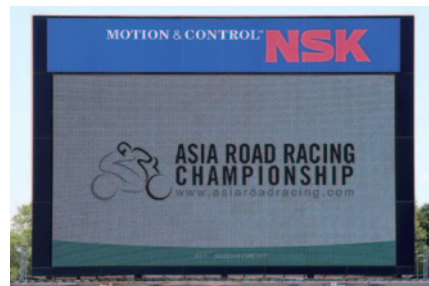
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表

アジア最高峰のロードレース「アジアロードレース選手権」 今年も鈴鹿サーキットが日本ラウンドのステージに

1996年にその歴史の幕を開けた「アジアロードレース選手権」。23年目のシーズンとなる今年も、タイでの開幕戦を皮切りに、オーストラリア、日本(鈴鹿)、インド、インドネシア、タイと各国を転戦して全6戦で争われます。

鈴鹿サーキットでは2013年以来6度目の開催となり、アジア、オセアニアを中心に10の国と地域の選手が集結しました。開催カテゴリーは、最高峰クラスとなる市販スポーツバイクベースのSS600(SUPERSPORTS 600cc)をはじめ、アジア市場の人気を集める市販250ccスポーツバイクベースのAP250(ASIA PRODUCTION 250cc)、アジアで盛んなUB150(UNDERBORNE 150cc)。アジアから世界を目指す選手達の激しいバトルが各クラスで繰り広げられました。

アジアロードレース選手権公式サイト <http://www.asiaroadracing.com/>



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【SS600】

レース1

ポールポジションからスタートしたアズラン・シャー・カマルザマン(マレーシア)を先頭に10台での激しい争いが繰り広げられました。残り4周で昨年の鈴鹿ラウンドを2レースとも制したアンソニー・ウェスト(オーストラリア)がトップに立つと、その後はコーナーごとにトップが入れ替わる展開となり、最終的にカマルザマンがトップチェッカー。2位にはチームメイトのアハムド・ユディスティラ(インドネシア)が入り、ワンツーフィニッシュを飾りました。



	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	アズラン・シャー・カマルザマン(MAS)	Manual Tech KYT Kawasaki Racing	Kawasaki
2位	アハムド・ユディスティラ(INA)	Manual Tech KYT Kawasaki Racing	Kawasaki
3位	アンソニー・ウェスト(AUS)	Webike IKAZUCHI Racing	YAMAHA

※タイヤはダンロップのワンメイク

レース2

1周目に赤旗中断となったため10周の超スプリントレースとなったレース2は、伊藤勇樹がレースを引っ張る形となりましたが、アンソニー・ウェスト、アズラン・シャー・カマルザマン、ケミン・クボ(タイ)もトップ争いに加わり、9周目には1周の間に4回もトップが入れ替わる激しい展開となりました。伊藤が逃げ切るかと思われた最終ラップでは、日立オートモティブシステムズシケインに数台のマシンが一気になだれ込み、9位までが1秒以内という大混戦をウェストが制しました。



	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	アンソニー・ウェスト(AUS)	Webike IKAZUCHI Racing	YAMAHA
2位	ケミン・クボ(THA)	YAMAHA Racing Team ASEAN	YAMAHA
3位	アハムド・ユディスティラ(INA)	Manual Tech KYT Kawasaki Racing	Kawasaki

※タイヤはダンロップのワンメイク

【AP250】



【レース1】
優勝 レーザ・ダニカ・エーレンス(INA)
2位 アヌパップ・サルムーン(THA)
3位 マリオ・スリョ・アジ(INA)



【レース2】
優勝 レーザ・ダニカ・エーレンス(INA)
2位 マリオ・スリョ・アジ(INA)
3位 アンディー・ムハンマド・ファドゥリ(INA)

【UB150】



【レース1】 優勝
ムハマド・ヘルミ・アズマン(MAS)



【レース2】 優勝
グピタ・グレスナ(INA)

AUS…オーストラリア INA…インドネシア MAS…マレーシア THA…タイ

※詳細なりザルトは右記をご参照ください。 <http://www.suzukacircuit.jp/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

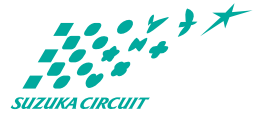
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーション アラカルト1



お昼のインターバルに無料で開催されたピットウォーク。
藤原克昭氏もファンサービス。



ピットウォーク時にはホームストレート周辺も開放され、コース
ウォークをお楽しみいただきました。



国際レーシングコースの運営施設見学など、普段は入れない
エリアをご体験いただく「バックヤードツアー」。
写真はポディウム(表彰台)体験。



今回は海外のお客さまにも「バックヤードツアー」をお楽しみ
いただきました。写真はメディアセンター。

PICK UP 1

2日(土)にはヤマハファミリー応援団約200名様が来場、さまざまなモータースポーツイベント体験と
レース観戦をお楽しみいただきました。



国際レーシングコースバス走行



グリッドウォーク



ピットウォーク



ピットビル2階ホスピタリティラウンジでの観戦

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



大会の様子はFacebookにて動画でライブ配信されました。



大会の様子はFOX TVIによりアジア諸国へライブ放映されました。



夏を思わせる陽気の週末、園内ではミストによるクールダウンエリアが設置されました。



今年30回目を迎える鈴鹿のF1日本グランプリ。メインゲートのウェルカムひろばには、期待が高まるディスプレイが展開されています。

PICK UP 2

2019年からアジアロードレース選手権に導入される新クラス「ASB1000」の記者発表が6月2日(土)に行われました。FIMスーパーストックレギュレーションに準じた市販1000ccマシンによるハイレベルなプロダクションレースの開催は、ワンメイクとなるダンロップタイヤのサポートとあいまってシリーズのより一層の盛り上がりが見込まれます。



PICK UP 3

鈴鹿市役所1階市民ロビー「モータースポーツ振興コーナー」では、7月29日(日)に決勝が行われる「コカ・コーラ」鈴鹿8時間耐久ロードレースにちなんだ展示が行われています。



コカ・コーラカラーに彩られたプロモーションバイクHonda CBR1000RR。



4月の「ル・マン24時間」で優勝したF.C.C. TSR Honda Franceの写真パネルも同時展示。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

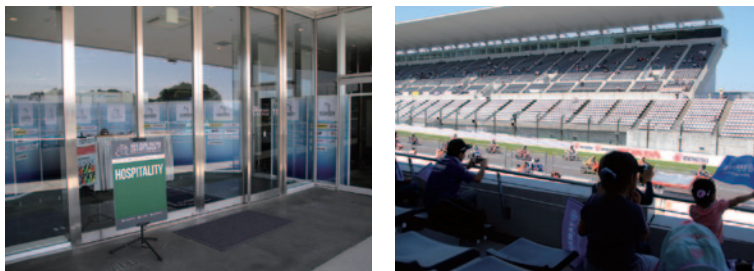
【公式プログラムご協賛】



株式会社オフィスとらくしよん
住友ゴム工業株式会社

A4 カラー20p 無料で配布いたしました。

【ホスピタリティラウンジご利用】



TWO WHEELS MOTOR RACING
ヤマハ発動機株式会社

【パドックサービスご出展】



株式会社アールエスタイチ
株式会社クシタニ
株式会社SHOEI
株式会社ヒョウドウプロダクツ

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

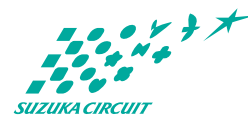
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2018年4月1日現在